

近代京都画壇の名品にみる

# 日本画 余白の美

開館時間：午前九時～午後五時（入館は午後四時半まで）  
休館日：毎週水曜日（祝日の場合は翌平日）  
入館料：大人二百円 小・中・高生百円

団体（二十人以上）の場合は、大人百六十円  
小・中・高生八十円  
※市内の小・中学生は土・日曜日入館無料



西山翠嶂 《雨餘》 木下美術館蔵（前期展示）

平成27年10月10日(土)～12月8日(火)  
前期 10月10日(土)～11月10日(火) 後期 11月12日(木)～12月8日(火)



上村松園 《新蛭》 昭和7年 松伯美術館蔵（前期展示）

# 近代京都画壇の名品にみる 日本画 余白の美

日本美術の歴史の中で、画家たちが大切にしてきたことがあります。それは「余白」に詩情を込める、ということです。背景を細密に描きこみ、科学的な目で空間を再現することが多かった西洋の表現とは異なり、日本の絵画は「描かない」余白に大きな意味を込めて、空間の「遠さ」や「広がり」などを表現します。それが日本画独特の詩情を生み、鑑賞者は吸い込まれるように絵の世界に誘われるのです。この展覧会では「余白の美」をテーマに近代の日本画を紹介し、日本画が織り成す空間の美しさを改めて見直します。



橋本関雪 《波にかもめ》 元教業小学校蔵



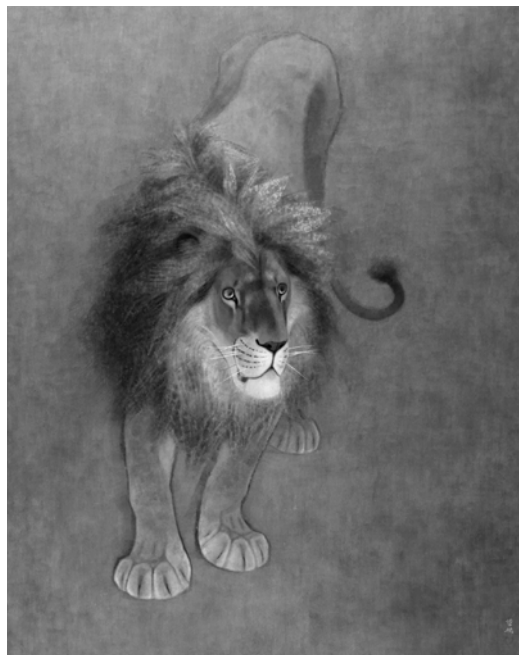
上村松園 《春の旅》 昭和14年 松伯美術館蔵  
(後期展示)



上村松篁 《鴛鴦》 昭和40年 松伯美術館蔵



小野竹喬  
《初秋を志ばらく立ちぬ庭の面》  
個人蔵 (後期展示)



山口華楊 《凝視》 昭和37年 洛央小学校  
(元格致小学校) 蔵

## 関連講演会

### 「余白の文化—日本画の空間表現について—」

講師：上村淳之（京都市学校歴史博物館館長、日本画家）

日時：10月20日（火） 14時～15時30分

会場：京都市学校歴史博物館 3F講義室

定員：80名（先着順）

聴講料：無料（別途入館料が必要）

受付：京都いつでもコール

※講演会名、氏名（ふりがな）、電話番号、複数名申込みの場合は同伴者人数をお伝え下さい

電話＝075-661-3755 FAX＝075-661-5855

※おかけ間違いにご注意下さい

電子メール＝「京都いつでもコール」Webページより受付

申込期間：9月18日（金）～10月18日（日）



京都市



文化力

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

阪急…河原町駅	徒歩約10分	10番出口「藤井大丸口」から南西へ
京阪…祇園四条駅	徒歩約15分	3番出口から南西へ
地下鉄…烏丸線四条駅	徒歩約12分	5番出口から東へ
市バス…四条河原町	徒歩約10分	南西へ
市バス…河原町松原	徒歩約5分	北西へ



## 京都市学校歴史博物館

Kyoto Municipal Museum of School History

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橋町437  
TEL.075-344-1305 ※水曜休館 <http://kyo-gakurehaku.jp>

●この印刷物が不要になれば、「雑がみ」として古紙回収へ

